



環境文学としての江戸時代旅日記

【PRESENTER】 ハイデルベルク大学 哲学部 東アジア学センター 日本学研究所

Judit Arokay 教授

【DISCUSSANTS】 浅井 美峰 (大阪大学大学院人文学研究科 准教授)

宮本 祐規子 (大阪大学大学院人文学研究科 准教授)

4/17 Fri 17:00~18:30

本発表では、江戸時代の女性による旅日記・旅行記を中心とする旅行文学を対象に、文学的テキストと非文学的テキストの境界を問い直す試みについて論じたいと思います。これまでの私の研究では、特に歌枕をはじめとする古典的詩的モチーフに注目し、それらがどの程度、どれほど長く風景や自然の認識を規定しているのか、また江戸時代の旅人の実際の経験がいつ、どのように描写されるようになるのかを考察してきました。こうした問題意識から、日本文学デジタル地図プロジェクト（2016年開始、大阪大学との共同研究 <https://literarymaps.nijl.ac.jp>）も生まれました。本発表では、これまでの歌枕中心の視点を踏まえつつ、新たに「環境文学」という観点から、旅行記の読解が江戸時代における自然・環境の認識やその変化を考える上でどのような可能性を持つのかを検討し、今後の研究課題を提示します

問い合わせ先 大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 gjs@ml.osaka-u.ac.jp

大阪大学豊中キャンパス 言語文化 B棟 4階 418

講演：日本語 討論：日英両語

Presentation will be held in Japanese. Discussion will take place in both English and Japanese